

★12月号★



木曽林務課だより

木曽郡内の国有林野内において二ホンジカ等の捕獲を推進するための協定が締結されました



木曽森林管理署長、木曽森林管理署南木曽支署長、木曽猟友会長の3者は木曽地区野生鳥獣保護管理対策協議会長である木曽地域振興局長立ち会いのもと「国有林野内における二ホンジカ等の捕獲に関する協定」を12月19日に木曽合同庁舎において締結しました。

協定の内容は、木曽郡内の国有林野内において二ホンジカ等の捕獲を推進して野生鳥獣による農林業被害の軽減を目指すことを目的に、木曽猟友会からの申請を受けて国有林への車両による入林について森林管理署が配慮するものです。併せて、木曽猟友会が入林時において土砂崩落等を発見した場合には森林管理署へ通報をする等の管理業務について可能な範囲で協力を行います。この協定は中部森林管理局管内では最初の締結となるもので、今後他地区への波及効果が期待されます。

なお、木曽管内における鳥獣別の農林業被害額のうち、二ホンジカによる被害は全体の1%と僅かですが二ホンジカは一旦生息数が増えると農林業に深刻な被害をもたらすため、木曽地区野生鳥獣保護管理対策協議会（事務局 林務課）においても関係者の方々と情報共有を行い、連携をして木曽郡内の被害対策を進めていきます。



木曽のさわら材を活用して開発された「うふっ湯桶」がウッドデザイン賞2017奨励賞を受賞しました

うふっ湯桶は、森林づくり県民税を活用した「信州の木活用モデル地域支援事業」の補助を受けて、南木曽町の「産湯桶でウッドファースト協議会」が開発した商品です。

赤ちゃんに優しい木曽のさわら材を使いながら、従来の木桶にはなかったモダンなフォルムで現在の暮らしにもマッチするオリジナル・デザイン。

また、見た目だけでなく使い勝手を考慮した工夫も満載されています。

詳細は、「産湯桶でウッドファースト協議会」ホームページをご覧ください。

(<http://shimizumokuzai.jp/ufuyuoke>)

